

祝 創立75周年  
令和7年度5月号



# 咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



## 自分なりの方法で気持ちを表す

園長 北村 恵

入園・進級からそろそろ一月が経とうとしています。このところ、天候によって朝と日中の寒暖差が大きく、体調も崩しがちです。登園の服装にも悩む日々ではないでしょうか。5月は、爽やかな気候に誘われて子供たちも体を動かすことが増えたくさん汗をかきます。日中は動きやすい薄着で過ごせるようにしていきましょう。

入園当初は泣かずに過ごしていたり、幼稚園に行くのを楽しんでいた子供が、ゴールデンウィーク明けに急に泣いたり登園を嫌がったりすることがあります。保護者の方にとっては、今まで泣かずに過ごしていたのに、急にどうしたのだろうかと不安になることがあると思います。それには、いくつかの理由が考えられます。今までは緊張で涙を我慢していた子供も、この1か月で先生への安心感が生まれ、泣いても大丈夫、泣いてもいいんだと思えるようになります。また、目新しいおもちゃに目を奪われて遊ぶことを楽しんでいた子供も、集団生活の中で少しずつ、我慢したり譲ったりすることを体験し、幼稚園は自分の思い通りにならないこともあることを知っていきます。でも、それこそが集団生活をする大事な意味です。

子供たちにとっては、幼稚園は初めて出会う社会です。集団の中でどのように自分の思いを表し、どのように、自分とは違う考えをもつ友達を受け入れていくのかを学ぶ場です。他の学年の子供たちもたくさんの葛藤を経験しています。

4歳児の部屋からはこんな声が聞こえてきます。「い・れ・て～」「今は無理だよ～」「な・ん・で～」「○○ちゃんと遊んでるから～」この言葉はすべてわらべ歌のようなリズムで会話されています。でも、ふざけているわけではないのです。相手を傷つけないようにしながら、自分の考えを伝えようとする子供たちなりの知恵です。結局、この時は周りで聞いていた友達が助け舟を出して、隣に家を作って入れなかった友達と一緒に遊んでいました。

5歳児は先日、初めてグループでのこいのぼり作りを経験し、出来上がった4匹が砂場の上で泳いでいます。3から4人のグループで相談し、体や目の色、うろこの形を決めて作っていきます。相談する時に、自分の意見だけを主張してはうまくいきません。何も言わずに黙っていても進みません。自分の気持ちをちゃんと伝えることがまずは必要になります。相手の考えを聞いたり受け入れたりすることが必要です。一人一人得意なことも苦手なことも違う子供たちですが、年長の1年間で、一人では難しいこともみんな力で合わせればやり遂げることができるという経験を積みあげていきます。

一人一人が自分なりの方法で伸び伸びと自分の気持ちを表せるよう、子供たちの気持ちに寄り添いながら集団で生活する楽しさを伝えていきたいと思っています。